



～みんなかがやく 富田っ子～

富田っ子だより 第7号

富田小学校 学校通信
令和3年6月29日(火)



水泳の授業 ～例年の半分の人数で～

子どもたちが楽しみにしていた水泳の授業を、予定通り6月15日(火)から行っています。

今年度は、新型コロナウイルス感染防止を踏まえ、更衣室での着替えやプールでの密集・密接を避けるために、例年の半分の人数で実施しています。昨年度は水泳の授業が中止となり、一度もプールに入ることができませんでしたので、プールに入る子どもたちはどの子も満面の笑みで、楽しそうに水泳の授業に取り組んでいます。

子どもたちにとっては2年ぶりの水泳となりますので、2学年前の学習内容から始め、ゆっくりと水に慣れていってほしいと考えています。コロナ禍での水泳でいくつかの制限はありますが、この貴重な時間をよい体験にしたいと思います。学校では、子どもたちの安全を第一に、楽しい水泳授業になるよう努めていきます。

右の写真は、6年生の子どもたちがプール掃除をしてくれた写真です。全学年の子どもたちが気持ちよくプールに入れるよう、6年生の子どもたちがしっかりと掃除をしてくれました。最高学年としていつも頑張ってくれている6年生に感謝です。プールがとてもきれいになりました。ありがとう。みんな気持ちよさそうにプールに入っていますよ。



地域先生による2つのクラブ活動 ～地域の教育力のおかげです～

6月2日(水)、今年度初めてのクラブ活動が行われました。

4年生以上の子どもたち357人が13のクラブに分かれて活動をしています。そのうち、本校では毎年、イラストクラブとグリーンクラブの2つのクラブが地域先生(学校の教員ではない方々)にご指導いただいています。この2つのクラブは、教員では指導できないことが多く、またできる教員がいてもその教員が異動することでクラブ活動が存続できないなどの課題もあるため、地域先生(富田校区に居住)にお世話になっています。

地域先生はその道で長く経験を積まれており、基本的な知識をはじめ、イラストを描く時の細かな技術や植物の特徴や知恵、不思議などを丁寧に子どもたちにご指導いただいています。

このようにクラブ活動をはじめ、本校の教育活動に多くの地域の皆様のご協力をいただいています。子どもたちには、興味や関心をもって、楽しんで活動してほしいと思っています。



【子どもたちの安全を第一に！ ～地域からの声～】

先日、地域の方から「子どもたちが、住宅地などの道路や駐車場等でボール遊びやローラーのついた遊具等で遊ぶことがあり、危険であるので学校でも安全教育をしてもらいたい。」とのお声をいただきました。

全国的にもいろいろなところで実際に事故が起こっているようです。放課後、子どもたちが外で元気に遊ぶことはとても大事なことであり必要なことだと思いますが、それも事故やけがにつながるようなことになってはいけません。

学校でも指導したところですが、お家でも安全に気をつけて遊べるよう、子どもたちの遊ぶ場所や遊び方について話題にいただければと思います。



読書週間 ～これからも読書を楽しもう～

右の表は、昨年度行った児童及び保護者アンケートの結果です。

「進んで読書をしていますか（児童）」、「家庭で読書をしていますか（保護者）」との問いに、肯定的な回答をした児童は 74.3%、保護者は 51.9%でした。いずれも他のアンケート項目に比べかなり低い結果となっています。

■児童「進んで読書をしていますか」	74.3%
□保護者「家庭で読書していますか」	51.9%



こうした結果も踏まえ、6月7日（月）から2週間にわたり、校内読書週間に取り組みました。子どもたちの言語能力の向上を目指すとともに、いろいろな本に親しみながら読書の楽しさを味わい、自ら学ぶ姿勢を身につけることを目的に、毎年本校が実施している取り組みです。

学校では、期間中毎朝、朝の学習の時間を使って15分間の読書活動に取り組みました。また、ブックラリーを行って図書委員さんにハンコをもらったり、教師や図書館司書さんによる読み聞かせをしたり、授業で図書室を利用する時間を設けたりするなど、子どもたちが本に興味を持てるような取り組みを行いました。

一方、学校での取り組みに合わせ、家庭読書にも取り組んでいただきました。お家の方と子どもで互いに読み聞かせをしたり、一人読みやめいめい読みをしたりするなど、様々な方法で読書の機会を設けていただきました。読書を通してご家族での会話が弾んだのではないのでしょうか。「家族読書の記録」と合わせて家庭での取り組みにお礼申し上げます。ご協力ありがとうございました。

今後も、お家でも子どもといっしょに本を読んだり、読み聞かせをしたりしながら、本に親しむ機会を作っていただければと思います。

さて、読書が子どもたちの成長に大きく寄与していることはずいぶん前から言われてきましたが、具体的にどのような効用があるのでしょうか。脳科学者で有名な茂木健一郎先生が、「脳科学でも証明されている！読書好きな子が経験している5つの効果」についてコメントされていますので紹介します。

①語彙・言語能力の発達

絵本や本の中にある言葉や表現の仕方は、私達の日常で使われている言葉とは少し違います。読書をする意識せずとも語彙が増え、言葉の発達もぐんぐん伸びます。



②集中力がつく

本が好きな子は集中力があると言われる。確かに読書はテレビや漫画に比べると、真剣に本と向き合わなければ内容が頭に入ってきませんから、自然に集中力がついていきます。

③想像力・感受性が豊かになる

想像力は人間が生きていくうえで欠かせない“脳力”です。読書は自由奔放な想像の世界に子どもを導き、情操を豊かにします。人が力強く生きる原動力ともなる好奇心を刺激し、しなやかな心をつくるでしょう。

④ストレスの解消ができる

読書が大好きになって、本の世界に没頭できるようになると読書は手軽なストレス発散方法になります。筆者も読書が好きなのですが、疲れた時は寝転んで本を開きます。そうすると、心も体も随分リラックスしているのを感じます。

⑤人の気持ちがわかるようになる

読書をする様々な登場人物の心理を読み取る事になるので、自然と人の気持ち・共感する能力が上がります。



このように、読書は子どもたちの心をより豊かにし、生きるための力をつけていく上で欠くことのできないものです。毎日の生活の中で本と触れ合う時間を作ることで、子どもたちが本に興味を持ってくれればと思っています。

【個人懇談会の日程の訂正について】

6月18日付で配付しました「個人懇談会の開催について（お知らせ）」に間違いがありました。

以下のとおり訂正させていただきますので、よろしくお願いいたします。

＜訂正前＞ 7月19日（月）給食あり 13時20分下校

＜訂正後＞ // 給食なし 11時20分下校